



(1) 教員採用試験ガイダンスのお知らせ

下記のとおり、今年も3・2・1年生対象の「教員採用試験ガイダンス」を実施します。教員採用試験とはどんなものか、どうすれば合格するのかなど教採合格に関する情報を短時間でプレゼンします。教員志望の人はもちろん、教員になるかどうか迷っている人も是非参加してください。昼休みにZoomで行うので、食事しながらの参加でもOKです。また、プレゼンを見て説明を聞くだけなので、zoomにアクセスできるならスマホでも大丈夫です。市ヶ谷と多摩の皆さんの参加も歓迎です。参加希望の方は、所属キャンパスの教職課程センターにご連絡ください。このガイダンスをきっかけに教採準備を始めれば教員採用試験には十分間に合います。ガイダンスの後も詳しい説明を聞きたい人や相談にのってほしい人は、所属キャンパスの教職課程センターにメールしてください。

さらに、ガイダンスをきっかけに「合格論文書き方講習」「学習指導要領講習」「教育法規講習」の動画を見なくなった人は、教職課程センター小金井相談室(kkck@ml.hosei.ac.jp)に来室するかメールをくれれば、ダウンロード用のURLをお知らせします。なお、個人面接の講習動画は、法政大学のオンデマンドコンテンツ(<https://lms.hosei.ac.jp/>)に上がっています。

記

1 日時 2020年10月12日(月)、14日(水)、16日(金) 12:40~13:10

※3回とも同じ内容なので、1回参加すれば十分です。

2 場所 zoom

3 その他 ○小金井の2・3年生は、事前申し込み不要です。学習支援システムの「お知らせ」にある招待URLとパスコードからzoomにアクセスしてください。

○小金井の1年生と他キャンパスの皆さんは、10月9日(金)までに各キャンパス教職課程センターにメールしてください。zoomの招待URLとパスコード、配布資料をお送りします。

(2) 「合格体験談発表会」「教育委員会による教採説明会」の日程

小金井3年生の「教育実習事前指導」の授業の中で実施しますが、1・2年生や大学院生、他キャンパスの方でも希望者は参加できます。参加を希望する人は、所属キャンパスの教職課程センターへお知らせください。説明会の自治体は、埼玉・神奈川。

「合格体験談発表会」11月28日(土) 13:20~17:00 [zoomで実施] (3年生以外は途中参加・退可)

「教育委員会による教採説明会」12月5日(土) 13:20~17:00 [zoomで実施] (3年生以外は途中参加・退可)

【さんすう・すうかくコーナー】

(1) 分数の割り算

中学生のA君が先生に質問しました。「先生、

$$\frac{2}{3} \div \frac{5}{7}$$

のような分数の割り算は、なぜ分子と分母をひっくり返して、

$$\frac{2}{3} \times \frac{7}{5} = \frac{14}{15}$$

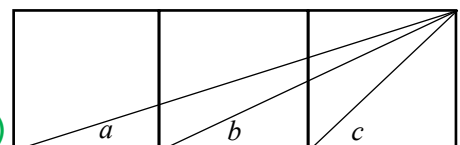
としていいんですか？ その理由を教えてください。」

★A君が理解できるように説明できますか？

(2) 角度の和

右の図のように正方形が3つ並んでいます。

★3つの角度の和 $a+b+c$ は、何度でしょう？ (求め方も)



「教採現役合格のための7か条」

10年間教員採用試験の指導をしてきた経験から、現役合格するためには幾つかの極意があるように感じます。それらを「教採現役合格のための7か条」としてまとめてみました。参考にできれば幸いです。



【第1条】教採を知れ！

まず何とんでも教採のことを知らなければ準備のしようがありません。教採とはどんなものなのか、どんな準備が必要なのか、過去問では何が出ているかなど、教採に関する知識を得ることが第一歩です。教職課程センターには、このことについて豊富な資料があります。貸し出しも行っていきます。学年も学部も学科も問いません。また、10/12、14、16に実施する「教員採用試験ガイドス」(表面参照)も役に立つと思います。

【第2条】合格までのスケジュールを立てよ！

何事も無計画ではうまくいきません。関東地区の1次試験は、毎年7月11日(日)頃です。それまでにどんな勉強や準備をすればいいのかわかることが大切です。4年生の5月～6月の3週間は、教育実習で教採準備ができません。今年はコロナで教育実習が秋になり、残念ながら実習体験を試験に生かせませんでした。

【第3条】教育(学習)ボランティアのススメ！

教採では、願書や2次試験で提出する面接票にボランティア経験を書く欄があります。教育(学習)ボランティアを経験していないと何も書けません。もちろん、面接でたっぷり聞かれます。塾講師も生徒を指導した体験には違いないですが、公立学校でのボランティアの方が学校の様子分かって有利です。教員採用試験の指導してくれる学校もあります。飲食店等でのアルバイトは生徒の指導経験ではないので、書くのは避けた方がいいでしょう。現在、法政大学生・院生が参加している主な教育(学習)ボランティア先は、下記の通りです。先方と日程調整し、日程の合う日だけに参加することが可能です。ボランティアといっても交通費や手当が出る人が多いです。

- 都立広尾(ひろお)高校：私が前校長。定期考査前に自習室で生徒からの質問を受けて指導。最寄駅は恵比寿。
- 台東区立柏葉(はくよう)中学校：卒業生が勤務。教採指導あり。特別支援学級の介護等の支援。最寄駅は上野。
- 杉並区立高南(こうなん)中学校：前副校長が本学工学部卒業生。水曜日の放課後は自習対応、土曜午前は数学の授業中の補助。最寄駅はメトロ新高円寺(大学から45分)。

【第4条】筆記試験の勉強開始は早めに！

1次試験の中心は、筆記試験です。内容は数学、理科、情報の専門教養と教育原理や教育法規などの教職教養です。自治体によっては、高校の科目である一般教養もあります。これらは、普通に勉強したら確実に時間が足りません。受験する自治体の傾向に合わせた効率的な勉強が重要。例えば、東京都は一般教養がない代わりに教職教養で教育法規の比率が高いです。神奈川県などは一般教養と教職教養が両方あります。一般教養は範囲が広すぎるので、**まずは専門教養と教職教養から始めましょう！**参考書や受験雑誌などを用いて、とにかく知識を身に付けます。特に、指定校推薦や附属高校推薦で法政大学に入学した人は大学受験を経験していない分、専門教養に課題があることが多いです。合格するためには、一般受験入学者よりも更に早いスタートが求められます。教採模試もおススメです。

【第5条】論文を制する者は教採を制す！

論文は、自分一人で何回練習しても絶対に上達しません！それは、書き方には秘訣があるからです。**教採の論文は「書く面接」です。就活の論文とは書き方が全く違います。**したがって、企業と教採を併願する人は2種類の論文を練習することになり、かなり難しいです。法政大学教職課程センターの一番の強みは、教採論文指導にあります。毎年、年間400枚以上の論文を添削しています。この4年間、センターの指導を受けて論文で不合格になった受験生はいません。安心して、「合格論文書き方講習(動画)」→「論文添削(30回以上)」に取り組んでください。

【第6条】面接試験は合格を勝ち取る最後の関門！

昨今の教採は人物重視なので、面接の配点が極めて高くなっています。公立私立を問わず、面接試験は2次試験で行われることが多いので、1次通過した人は全員同じ条件で面接試験に臨むこととなります。つまり、**1次試験は合格だけが重要で、1次通過したら点数は関係ない**のです。面接試験には個人面接、集団討論、集団面接などがあります。法政大学では2月にアナウンサーを講師に招いた「面接講習」を行います。その後、2月3月に「第1回面接練習」を行います。そして、7月8日に「第2回面接練習(2次対策講座)」を行います。これらは、学部・学年・キャンパス不問です。今年は、4年生に交じって9人も3年生が7月8日の第2回面接練習に参加しました。教採意欲が高くて大いに結構！来年が楽しみです。



【第7条】教師養成塾のススメ！

最近、各自治体が地元出身の学生を優先して採用したいので、教師養成塾生を募集し、その修了生を優先して採用しています。受講料は、その自治体に合格すると免除になることが多いです。自分の地元であれば参加してみるとよいでしょう。募集時期は、2月～3月です。ちなみに、東京都は小学校教員志望者だけです。例を挙げておきます。

- 千葉県・千葉市：「ちば！教職たまごプロジェクト」 <https://www.ice.or.jp/nc/shien/tamago/>
- 横浜市：「よこはま教師塾アイ・カレッジ」 https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoiku/kyoiku/bosyusaiyou/_l_college/
- 川崎市：「輝け！明日の先生」 <http://www.kks-support.sakura.ne.jp/hp%20folder/O4kyouin%20sibou/1kagayake%20sensei/29kagayakeannai.pdf>

★教職課程センター小金井相談室は、全力で皆さんの合格を応援します。頑張ってください！